

認知的枠組みがコミュニケーションに及ぼす影響

研究者プロフィール

- ・ 地域総合学部 地域コミュニティ学科 教授 清水貴裕
- ・ 臨床心理学, 臨床社会心理学
- ・ 催眠, 潜在認知, 不登校, いじめ, ストレスマネジメント, コミュニケーション等
- ・ 日本心理学会, 日本臨床心理学会, 日本ブリーフサイコセラピー学会 Society for Clinical and Experimental Hypnosis等
- ・ 経歴: 筑波大学人間総合科学研究科助手, 秋田大学教育文化学部准教授
- ・ 著書: 催眠反応性の規定因に関する臨床社会心理学的研究 (風間書房), 実践につながる生徒指導・キャリア教育 (北樹出版), 実践につながる教育相談 (北樹出版) 等



研究内容

催眠療法を中心とした心理療法の治療メカニズムに関する基礎的な研究から, 学校におけるいじめ, 不登校等の問題解決に関わる研究, 抑うつ改善やストレスマネジメントに関する研究等, 行っている研究は様々ですが, それらの共通して興味・関心を持って研究を行っているのは, 「我々一人ひとりが持つ認知的枠組みが心理的な問題や問題解決およびコミュニケーションにどのような影響を与えるか」という点です。

私達は価値観や信念, 慣習という言葉で表現されるような「物事の見方」を持っています。そうした物事の見方に私達の行動やコミュニケーションは影響を受けていると考え, それらがどのように心理的問題を生じさせているか, また問題解決に至るのかについて研究しています。

関連キーワード

認知的枠組み, コミュニケーション, 人間関係

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

地域社会や会社等における人間関係やコミュニケーションにかかわる問題の解決や支援方法について検討することができるのではと考えています。

研究者への連絡先

- ・ E-mail アドレス: tshimizu@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- ・ 研究室電話番号: 022-354-8625